

製品名: MCSF (11G12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13736**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CSF1
別名	CSF1; Csfm; MCSF; MGC31930; Macrophage colony stimulating factor;
遺伝子 ID	1435.0
SwissProt ID	P09603
免疫原	ヒト M-CSF の合成ペプチド

背景

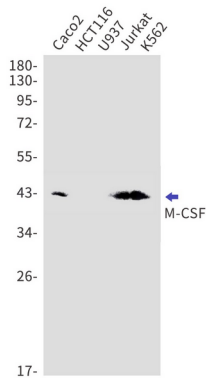
CSF1 は MCSF と呼ばれ、マクロファージの産生、分化、機能を制御する 4 α ヘリカル束サイトカインです。活性型のタンパク質

は、ジスルフィド結合ホモ二量体として細胞外に存在し、膜結合型前駆細胞のタンパク質分解による切断によって生成されと考えられています。このタンパク質は、胎盤の発達に関与している可能性があります。造血前駆細胞、特にマクロファージや単球などの単核食細胞の生存、増殖、分化の調節に重要な役割を果たすサイトカインです。炎症誘発性ケモカインの放出を促進し、それによって自然免疫と炎症プロセスで重要な役割を果たします。破骨細胞の増殖と分化の調節、骨吸収の調節に重要な役割を果たし、正常な骨の発達に必要です。正常な男性と女性の生殖能力に必要です。アクチン細胞骨格の再編成を促進し、膜ラッフルの形成、細胞接着、細胞移動を調節する。リポタンパク質のクリアランスにも関与する。

研究分野

免疫学

画像データ



M-CSF 抗体 (1:1000 希釈) を使用した Caco2、HCT116、U937、Jurkat、K562 細胞溶解物中の M-CSF のウエスタンブロット検出。